

定例記者発表次第

日時／令和 7 年 8 月 21 日（木）

10 時 30 分 開始予定

会場／矢板市役所 第一委員会室

1 開会

2 記者発表案件

- （1） 市内施設における病児保育事業の開始について（こども課）
- （2） 「栃木県災害時協力車登録制度」の市民への周知について（生活環境課）
- （3） 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）員の着任について（農林課）

3 質疑応答

4 提供案件

- （1） 山の駅たかはら「おしらじの滝 御滝印」の販売開始について（商工観光課）
- （2） 八方ヶ原のレンゲツツジの枯枝除去実施について（商工観光課）
- （3） 宇大生プレゼンツ「巨大すごろくで学ぶ！親子で地球にやさしくなる教室」の開催について（生涯学習課）
- （4） 矢板市立図書館 9 月イベントについて（生涯学習課）

5 その他

6 閉会



記者発表予定 令和 7 年 9 月 26 日（金）10 時 30 分～ 第一委員会室

記者発表資料

令和 7 年 8 月 21 日（木）発表・提供

件 名	市内施設における病児保育事業の開始について								
国際医療福祉大学塩谷病院において、10 月 1 日（水）から病児保育事業を開始します。 これまで、市内に病児保育実施施設がなく、市外の 2 施設を広域利用していました。国際医療福祉大学塩谷病院は、市内で初めての病児保育施設となります。 1 目 的 保護者の就労等により、家庭での保育が困難な病気のお子さんを一時的に保育することで、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、お子さんの健全な育成に寄与することを目的とします。 2 運営主体 国際医療福祉大学塩谷病院 3 開所日時 月曜日～金曜日 8：00～18：00（予定） ※土曜・日曜・祝日・年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）は休み 4 場 所 国際医療福祉大学塩谷病院 病児保育室（矢板市富田 77 番地） 電話 0287-44-1155 5 利用定員 3 人／日 6 利用対象児童 満 1 歳～小学 6 年生で、矢板市内在住または保護者の勤務地が矢板市内にある児童。なお、利用には事前登録が毎年度必要となります。 7 保育可能な疾患 感冒（かぜ）や消化不良症などの日常見られる疾患、ぜん息などの慢性疾患、感染性疾患の一部、骨折ややけどなどの外傷性疾患。 ※疾患の種類や症状などによっては、利用できない場合があります。 8 利用料金（1 日当たり） <table><tr><th>利用世帯区分</th><th>料金</th></tr><tr><td>①生活保護世帯または市民税非課税世帯</td><td>無料</td></tr><tr><td>②矢板市内在住の世帯(①の世帯を除く)</td><td>2,000 円</td></tr><tr><td>③保護者の勤務地が矢板市内にある世帯 (①・②の世帯を除く)</td><td>3,000 円</td></tr></table>		利用世帯区分	料金	①生活保護世帯または市民税非課税世帯	無料	②矢板市内在住の世帯(①の世帯を除く)	2,000 円	③保護者の勤務地が矢板市内にある世帯 (①・②の世帯を除く)	3,000 円
利用世帯区分	料金								
①生活保護世帯または市民税非課税世帯	無料								
②矢板市内在住の世帯(①の世帯を除く)	2,000 円								
③保護者の勤務地が矢板市内にある世帯 (①・②の世帯を除く)	3,000 円								

9 今後のスケジュール

9月1日（月） 広報やいた9月号でお知らせ

事前登録受付開始(こども課)

※市内小学校、保育所（園）、認定こども園へのチラシ配布予定

10月1日（水） 事業開始

※提供資料の有無：有（別添のとおり）・☐無

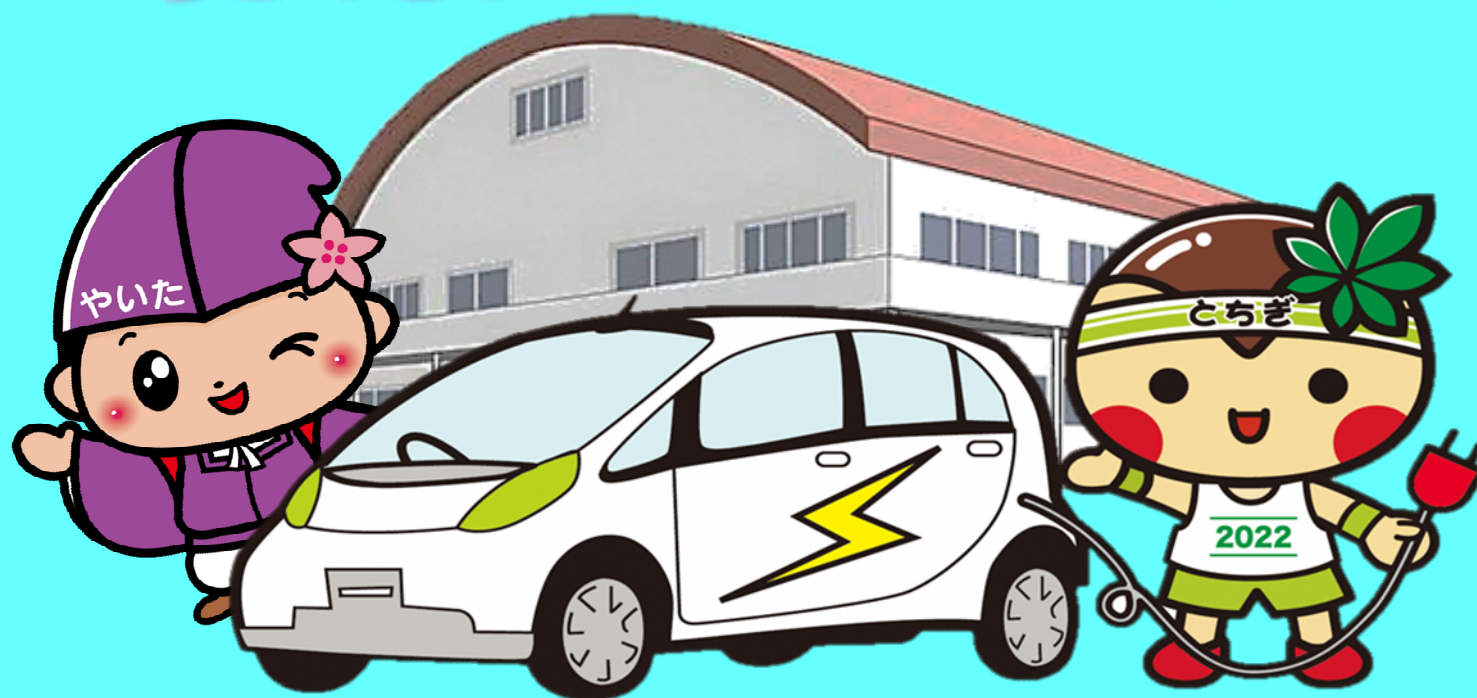
担 当 課 ・ 担 当 名	こども課保育担当		
担 当 者 名	佐藤 沙織		
電 話 番 号	0287-44-3600	内線電話番号	3330

記者発表資料

令和 7 年 8 月 21 日（木）発表・提供

件 名	「栃木県災害時協力車登録制度」の市民への周知について		
（説明文） 「栃木県災害時協力車登録制度」について、矢板市ホームページへの掲載、市内行政区内の班回覧などにより、市民への制度周知を図り、災害時の緊急電源の確保を図ります。 1 目的（趣旨） 「栃木県災害時協力車登録制度」については、県内の法人・個人が所有する外部給電可能な「電動車」をあらかじめ登録し、災害時の緊急電源として活用させていただく制度のことです。今回、矢板市内にこの制度周知を行い、市内の法人・個人の登録者数を増やして、災害時に活用させることを目的としています。 2 周知日 令和 7 年 8 月 6 日（水）から、市ホームページには掲載中。 令和 7 年 9 月 1 日（月）に、市内行政区へ班回覧実施。 3 内容 栃木県では、県内の法人・個人の外部給電可能な電動車（EV、FCV、HV 及び PHV）をあらかじめ登録し、災害時の緊急電源として活用する「栃木県災害時協力車登録制度」の運用を行っています。大規模停電が発生した場合に、県の依頼により、避難所等（避難所、救護所、医療機関等）で給電活動を行うもので、給電活動に要した電気代、燃料代等は県が負担することとなります。 この制度を矢板市内で周知を行い、登録車数を増やし、本市内で大規模災害が起きた時、より多くの給電ができるような体制づくりを目指します。 ※提供資料の有無：有（別添のとおり）・無			
担 当 課 ・ 担 当 名	生活環境課 企画・危機対策担当		
担 当 者 名	星宮 良行		
電 話 番 号	0287-43-1114	内線電話番号	2111

「栃木県災害時協力車」を 募集しています



災害時協力車とは

県内の法人・個人が所有する外部給電可能な「電動車」をあらかじめ登録し、災害時の緊急電源として活用させていただく制度のことです。

大規模停電が発生した場合に、県の依頼により、避難所等で給電活動を行います。

消費した電気代、燃料代等については、県が負担します。

詳細については、[県ホームページ](#)をご確認、もしくは以下の市担当課までご連絡ください。

矢板市生活環境課企画・危機対策担当
電話番号:0287-43-6755

↓県ホームページ



記者発表資料

2025年 8月21日（木）発表・提供

件 名	矢板市地域おこし協力隊（林業振興）員の着任について		
（説明文） 矢板市内の森林の整備と保全及び木製品のテストマーケティング等を進めていただく矢板市地域おこし協力隊員 高柳直彦さんが着任しましたので、お知らせします。 1 着任日 令和7年8月1日（金）～ 2 居住地 矢板市 3 自己紹介 添付資料のとおり 4 その他 木製品（小物）のテストマーケティング等を通じて、利用者を増やしていく取組を実践していただきます。			
担 当 課 ・ 担 当 名	農林課林政推進室		
担 当 者 名	副主幹 市川 貴大		
電 話 番 号	0287-43-6210	内線電話番号	4131

令和7年度 矢板市地域おこし協力隊 (林業振興)

たかやなぎ なおひこ

高 柳 直 彦

出身地 埼玉県所沢市

着任 令和7年8月1日



経歴

東京学芸大学 卒業

データ通信専用回線網の保守運用、療法士として指圧マッサージの施術、電気・給排水・空調等建物設備管理に従事。

能力開発として、刈払機取扱作業安全衛生教育修了、伐木等の業務特別教育修了
第二種電気工事士免許取得、第三種電気主任技術者免許取得

今後の展望

(地域おこし協力隊として)

- ・ 矢板の森林環境、林業状況を知り、貢献できることに努める
- ・ 林道の巡回、整備を通じて、林道の安全・安心を確保する

(個人として)

- ・ 林業とともに、いまそしてこれからの里山・山間地の暮らし方・生業を探し実践する
- ・ 木々・植物のことを知り、山や森の見方・育て方を身に着ける

記者発表資料

令和7年8月21日（木）発表・提供

件名	山の駅たかはら「おしらじの滝 おたきいん 御滝印」の販売開始について		
山の駅たかはらではこの度「おしらじの滝」をイメージした、御朱印ならぬ「御滝印」の販売を開始しました。山の駅たかはらにお立ち寄りの際はぜひお買い求めください。			
1 販売場所	山の駅たかはら（矢板市下伊佐野 991-3）		
2 価 格	1 枚 3 0 0 円（税込み）		
3 販売開始	8 月 21 日から（予定）		
4 サ イ ズ	ハガキ大		
5 印刷イメージ	 ※印刷イメージは多少異なる場合があります。		
※提供資料の有無：有（別添のとおり）・ ☐			
担当課・グループ	商工観光課 観光担当		
担 当 者 名	黒崎 真史		
電 話 番 号	0287-43-6211	内線電話番号	4220

記者発表資料

令和7年8月21日（金）発表・提供

件名	八方ヶ原のレンゲツツジの枯枝除去実施について		
八方ヶ原のレンゲツツジの枯枝除去作業等を実施し、レンゲツツジ群落保全を図るとともに、矢板市の緑化に対する理解を深めるため、ボランティアを募集いたします。			
1. 日時	令和7年9月21日（日） 集合 9：30 大間々駐車場（市バス利用者は8：30に市役所） 作業 9：30～11：00		
2. 場所	八方ヶ原大間々駐車場周辺		
3. 共催	泉交流協議会、矢板市、（一社）矢板市観光協会 矢板市緑化推進委員会		
4. 作業内容	レンゲツツジの枯枝除去、枯枝は現場数か所に集積		
5. 申込方法	9月17日（水）までに電話または 申込フォーム（ https://forms.gle/ovujFApzPnVpdLuv6 ） ※送迎バス（定員59人・先着順）をご希望の方は申し出ください。		
6. 問い合わせ先	泉交流協議会事務局（矢板市商工観光課）TEL：0287-43-6211		
7. その他	・作業に適した服装でご参加ください。 ・雨天中止の場合は、前日12：00までに判断し、電話連絡します。		
※提供資料の有無：有（別添のとおり）・ 無			
担当課・グループ		商工観光課 観光担当	
担当者名		関谷 憲昭	
電話番号	0287-43-6211	内線電話番号	4221

記者発表資料

令和7年8月21日（木）発表・提供

件名	宇大生プレゼンツ「巨大すごろくで学ぶ！親子で地球にやさしくなる教室」の開催について		
(説明文)			
5月から社会教育実習として生涯学習課で学んでいる宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科の2名の学生がゼロから企画、準備、運営する「矢板市親子体験教室」を開催します。中高生ボランティアを募集し、運営します。			
親子でリサイクルなどをテーマにした体験活動を通して、身近な環境問題や自分の行動について考え、自分にできることを促す機会とします。			
1 日時	令和7年9月21日（日）10：00～12：00		
2 場所	矢板市文化スポーツ複合施設 多機能ホール		
3 対象者	矢板市在住の小学生とその保護者30組（参加料無料）		
4 主催	宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科 矢板市教育委員会生涯学習課		
5 協力	環境文化都市やいた創造会議		
6 内容	①巨大すごろく（メインアクティビティ） 大きなサイコロを転がし、ダンボール製の大きなマスを進み、頭と体をつかって、クイズやミッションをクリアしていく。 ②ごみ分別を学ぶ！車いす大爆走レース 矢板市文化スポーツ複合施設の車いすと広いスペースを活用し、車いすを操作しながら、ごみの分別方法について学ぶ。 ③巨大ジェンガ ダンボール製の巨大ジェンガで遊ぶことを通して、身の回りのダンボールのほぼ全てが再利用されていることを知る。 ④5連けん玉 森林を守るために間伐などの手入れが不可欠であり、輸入材だけでなく国産木材を選ぶことにも意味があることを学ぶ。		
7 申込	各学校にチラシ配布、矢板市公式LINE等から申込フォームにて。		
◎添付資料	実施要項1枚、チラシ1枚		
担当課・担当名	生涯学習課 まなび担当		
担当者名	海瀬 裕之		
電話番号	0287-43-6218	内線電話番号	5210

巨大すごろくで学ぶ！親子で地球にやさしくなる教室実施要項

1 趣旨

親子でリサイクルなどをテーマにした体験活動を通して、身近な環境問題について考え、日々の行動を振り返って、自分にできることを促す機会とする。

また、参加した親子同士のふれあいや、普段はあまり接することがない大学生や中高生ボランティアとふれあう機会を意図的につくり、より多くの目で子どもを見守る体制づくりを目指す。

子どもだけでなく、保護者やボランティアスタッフにとっての学びの場になるようにする。

2 主催 宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科

矢板市教育委員会生涯学習課

3 協力 環境文化都市やいた創造会議

4 日時 令和7年9月21日(日) 10:00～12:00

5 場所 矢板市文化スポーツ複合施設 多機能ホール

6 対象 矢板市在住の小学生とその保護者

7 内容 親子で環境問題をテーマに楽しみながら体験する。

①巨大すごろく

今回のメインとなるアクティビティ。ダンボール製の巨大すごろくと、巨大サイコロを活用して、頭と身体を存分に活用しながら環境についての学びを深める。

②ごみ分別を学ぶ！車いすで大爆走レース

矢板市文化スポーツ複合施設の車いすと広いスペースを活用し、車いすの操作方法を学んで爆走しながら、ごみの分別方法についても学ぶ。

③巨大ジェンガ

ダンボール製の巨大ジェンガで遊ぶことを通して、身の回りのダンボールのほぼ全てが再利用されているという実情について学ぶ。

④5 連けん玉

健全な森林を守るためには、計画的な間伐などの手入れが不可欠であり、輸入材だけでなく国産木材でできたものを選ぶことにも意味があることを学ぶ。

8 運営 中高生ボランティアを10名程度募集し、運営に当たる。

9 参加費 無料

10 費用 90,000 円（会場使用料 30,000 円、材料費等 60,000 円※環境文化都市やいた創造会議より）

11 広報・周知

学校を通じてチラシ配布を行い、申込フォームにて参加人数等を把握

矢板市 HP、生涯学習課 Instagram、矢板市文化スポーツ複合施設デジタルサイネージ、生涯学習館掲示板等で予告及および実績報告

宇都宮大学 地域デザイン科学部
コミュニティデザイン学科学生

巨大すごろくで学ぶ!



親子で地球にやさしくなる教室

日時 9月21日(日) 10:00-12:00

場所 矢板市文化スポーツ複合施設 多機能ホール

対象 矢板市内の小学生とその保護者 (30組まで)

協力 環境文化都市やいた創造会議

巨大すごろく

親子で環境問題をテーマに
楽しみながらクイズや体験を通して
地球にやさしくなろう!



ごみ分別を学ぶ!
車いす大爆走レース



森を守れ!

国産木材

5連けん玉



参加費無料!
参加申し込みは
こちらから

問い合わせ

矢板市生涯学習課

TEL: 0287-43-6218



記者発表資料

令和 7 年 8 月 2 1 日（木）発表・提供

件名	矢板市立図書館 9 月イベントについて		
(説明文)			
矢板市立図書館主催のイベントをお知らせいたします。			
1 読書感想画展			
夏休みにみなさんから応募いただいた読書感想画を展示します。			
○日時 9 月 2 3 日 (祝・火) ～ 1 0 月 1 3 日(祝・月)			
2 わくわく工作「化石のレプリカ作り！～アンモナイト～」			
実物のアンモナイトから型をとって、特殊な石こうでレプリカを作ります。			
親子で楽しい思い出を作りましょう。			
○日時 1 0 月 4 日 (土) 1 3 : 3 0 ～ 1 5 : 3 0			
○場所 2 階 視聴覚室			
○対象 小学生(要保護者同伴)			
○定員 1 5 名 ※先着順			
○講師 栃木県立博物館主任研究員 河野 重範氏			
○申込 9 月 2 日(火) 9 : 0 0 ～			
図書館カウンターかお電話でお申込みください。			
担当課・担当名		矢板市立図書館	
担当者名		館長 高瀬 千恵子	
電話番号		0287-43-5661	内線電話番号